

令和6年度北杜市防災会議議事録

1. 会議名 令和6年度北杜市防災会議議事録

2. 開催日時 令和7年3月28日(金) 午前10時～

3. 開催場所 北杜市役所 北館 3F 大会議室

4. 出席者(敬称略)

出席委員：大柴邦彦、鈴木健司、古屋ひとみ、山内一寿、上野浩市、神宮司浩、渡邊和彦、
高橋隆、五十嵐墨、樋上和人、福田智士、小野光一、向山建生、
宮川勇人、加藤寿、大芝一、三井喜巳、小尾正人、小澤哲彦、皆川賢也、齊藤乙巳士、
小澤永和、平井ひろ江、進藤聡、加藤郷志、三井博彦、田中伸

欠席委員：草野真史、渡邊富士夫、清水徳生、鈴木純子、平野智哉、水川明人、日野水丈士
事務局：消防防災課 浅川博之、深澤朋彦、吉田大虎

会議録署名委員：高橋隆、五十嵐墨

5. 議題

(1) 開会

(2) 市長あいさつ

(3) 議事

1 「北杜市地域防災計画」の改訂(案)について

2 その他

(4) 閉会

6. 公開・非公開の別 公開

7. 傍聴人の数 1名

8. 審議内容(司会進行：事務局)

(1) 開会 事務局より開会の挨拶

(2) 市長あいさつ

(3) 議事

(司会)：北杜市防災会議条例に基づき、市長による議事進行をお願いする。

(議長：市長)：始めに議事録署名委員として東京電力パワーグリッド株式会社山梨総支社韮崎事務局
高橋隆委員及び日本電信電話株式会社山梨支店五十嵐墨委員の2名を指名する。1「北
杜市地域防災計画」の改訂(案)について、事務局より説明をお願いする。

(事務局)：「北杜市地域防災計画」の改訂(案)の内容を説明。

(議長)：説明が終わったので質問等あれば挙手をお願いする。無いので質疑を終了する。

今回の「北杜市地域防災計画」の改訂(案)の説明内容でよろしいか。

(委員)：異議なし。

(議長)：異議なしということで支持いただいた内容で確定とする。

その他委員より意見等あるか。

(委員)：現在の改定の内容については特に意見はないが、本誌のP37、P39の内容について2点提案がある。1つ目災害ボランティアセンターについて、現在社会福祉協議会の管轄となっているが、発災後指定福祉避難所となることから、要支援者が集まる状況となっているため、開設から運営できない状況にある。そのため、市の福祉部門が中心になり災害ボランティアセンターの訓練を行う。その中で、被災しなかった市民に災害ボランティアセンター運営に入ってもらうよう意識の啓発を行うことが重要。また、災害ボランティアセンターは災害対策本部と連携をとる必要があることから近くでなければならぬ。これらのことから、福祉保健部が中心となり訓練する必要があるため、防災計画の中で見直す必要がある。

2つ目はP39の配慮者対応について、県より説明のあった避難行動要支援者個別行動計画の作成は、地域住民ができる範囲で協力し搬送等を行うものとなっているため、地域防災計画を作成するものではない。そのため、市は制度を明確にし、普及・啓発を図り、避難をするタイミングについて、国が示していることから、それに合わせた個別行動計画を作成していく必要がある。

(事務局)：1つ目について、令和6年能登半島地震のボランティアセンターの状況を踏まえ、受援体制を含め改定が必要と考える。今後、防災訓練等も計画しながら、体制整備を検討することから、今後委員の方には意見等を伺いたい。2つ目について、民生委員等を通して作成を進めているところではあるが、速やかに救助ができる体制づくり重要であると考えため、民生委員や社会福祉協議会、関係団体等とも協議を行い体制づくりを行っていきたい。

(委員)：三か月前の山日新聞で防災会議の女性委員率が低いとあり、北杜市は5%代と非常に低い状況であるが、北杜市防災会議条例の第3条には40人以内をもって組織するとあり、現在34名であるので女性委員を増やす予定はあるか。女性委員の割合が高い自治体は30%代となっている。

(事務局)：防災関連の女性団体の中で委員候補を検討し、協議して参加してもらえるか打診して、結果を委員に報告する。

(議長)：ほかに意見等はあるか。

以上で予定していた議事を終了する。

(5) 閉会

以上、令和6年度第1回北杜市防災会議の内容を記載し、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

署名委員 _____

署名委員 _____